

おいしー (OEC) ニュースレター

2003年 9月

2

OEC事務局

OECは、地域の自然と環境に対して、子どもと大人が共通の体験及びその回復と保全を目指した実践活動をとおして、互いのふれあいと自然環境についての理解を深め、自然と環境の保全及び環境教育を推進し、文化の振興に寄与することを目的とします。



9月に入り少しだけ過ごしやすくなってきた今日この頃、みなさま、いかがお過ごしでしょうか？今回で2回目のニュースレター発行ですが、少しずつ内容を充実して楽しくお伝えしていきたいと思っておりますので、ゆっくりと見守っていただきね。それでは最初に、前号から最近までの出来事をお伝えしていきましょう。



去る6月28日～7月5日、『国場パリントニアフェスティバル』が行われました。6月28日の観察会には地域の方々をはじめ、多数の方が参加しました。

7月5日の国場公民館では、サガリバナが自宅の庭にある大嶺氏に「国場川と我が家のパリントニア」という題目で楽しくサガリバナの紹介をしてもらいました。OEC事務局からは、スライドショーの映写を行いました。総合司会に玉城美智子氏元(RBCアナウンサー)をお招きし、オカリナの演奏もご披露いただき、楽しい一夜となりました。



6月29日、世界遺産「識名園」での見学会が行われました。

今回は、世界へ向けての情報発信として、JICA 国際センターの研修生にも参加を呼びかけ、多くの外国の方にご参加いただきました。

自国では見られない庭園文化に感嘆の声をあげていました。



季節風

○…県庁の中庭にある2本のパリントニア(和名サガリバナ)のライトアップが7日始まり、深夜にかけて咲く白やピンクの花の甘いっばい香りが広がっている一写真。

○…復帰前の琉球政府時代に植え、新庁舎建設に伴い、県警と県庁間の現位置に移された。今では、県職員にもパリントニアの存在は知られていないという。

○…花のように見えるのはおしべ。一晩だけ咲き、めしべと受粉して散る。企画したNPO法人おきなわ環境クラブは、「どの川にもあったパリントニアが護岸工事でなくなった。足元の自然を見直すきっかけになれば」と話す。ライトアップは午後7時20分から10時。11日まで。



また、7月に行われた県庁におけるパリントニアのライトアップは、好評で1日100人程の参加がありました。

観賞に訪れた方は、「県庁の敷地内という都会の真ん中で、花見ができるなんて」と感激していました。

2003年6月～8月の活動実績

活動名	内容	月日	場所	備考
『国場バリエーションフェスティバル』 ～国場のバリエーション祭～	那覇市国場を中心にバリエーションに関する様々なイベントを行った。	'03-06-28 ～07-05	国場周辺 識名園	
・国場バリエーション鑑賞会	国場の民家3軒で早朝及び夜のバリエーション(サガリバナ)鑑賞会を行った。	'03-06-28 06:00～07:30 20:00～21:30	国場	
・識名園の見学会	かつては池に浮かぶサガリバナを觀賞していたであろう「識名園」地元のみならず、世界へ紹介した。	'03-06-29 10:00～12:00 14:00～16:00	識名園	日本旅行業協会 (JATA)環境基金助成
・大嶺家ライトアップ	国場の大嶺家にある樹齢35年のバリエーション(サガリバナ)をライトアップした。	'03-06-28 ～07-05 19:00～21:00	国場	
・バリエーション講演会	大嶺氏を講師に迎え、昔の国場周辺に群生していたバリエーション(サガリバナ)のお話をした。	'03-07-05 19:00～21:00	国場自治会 公民館	
沖縄エコツアーガイド養成講座	那覇市を中心に世界遺産9ヶ所、漫湖、マングローブ湿地を歴史・文化・自然・水環境の面から案内できるガイドを育成する。	'03-07-01 ～09-30	ている	県委託事業 求職者対象
自然環境ガイドブック出版 記者発表	『自然環境ガイドブック「おきなわの水辺環境」』と『自然環境ガイドブック「おきなわのマングローブ」』の出版を発表した。	'03-07-07	県庁 記者会見室	
『おきなわバリエーション展』 ～琉球列島の水辺植物～	バリエーション(サガリバナ、ゴバンノアシ)とマングローブなど、沖縄の水辺植物をパネルと鉢植えで展示。水辺植生の保全と希少生物保護をアピールした。	'03-07-07 ～07-11 09:00～17:00	県庁 県民ホール (1Fロビー)	
・県庁バリエーションのライトアップ	エコガイドの解説付きで県庁構内にある2本のサガリバナをライトアップした。	'03-07-07 ～07-11 19:30～22:00	県庁中庭	日本旅行業協会 (JATA)環境基金助成
・『マチュ - バンド 県庁ロビーコンサート』 ～バリエーションコンサート～	OEC副会長のマチュ(松堂好男)はジャズピアニスト。キーボードとサクソ、ベース、ドラムスのカルテット。沖縄の水辺がモチーフの8曲を演奏した。	'03-07-10 12:00～13:00	県庁 県民ホール (1Fロビー)	
宮古天女の水まつり 出展 『サガリバナ講習会』	バリエーション(サガリバナ)についてのパネルや出版物を展示し、サガリバナの植え方講習会をおこなった。	'03-08-02 ～08-03	宮古島	日本旅行業協会 (JATA)環境基金助成
第2回OEC沖縄講座『沖縄におけるエコツーリズムの現状と課題』	名桜大学助教授 新垣祐治先生による基調講演とOECの考える都市部における新しいエコツアーについての紹介、総合討論会を行った。	'03-07-27 15:00～18:00	沖縄国際 センター ニラホール	

7月2日より沖縄県商工労働部より受託した「第2回 沖縄エコツアーガイド養成講座」がスタートしました。

受講生は、9月30日まで一期生と同様約400時間の研修を受け、「沖縄エコツアーガイド」として認定される予定です。

現在は、2ヶ月間学んできた沖縄の世界遺産やラムサール条約登録湿地、マングローブ湿地を中心にオリジナルのシナリオを作成し、ガイドの実習を行っています。

また、今回は3月に認定された沖縄エコツアーガイド一期生が講師として、教壇に立ちました。

沖縄エコツアーガイド
養成講座開催中！



2003年9月～11月の活動予定

活動名	内容	月日	場所	備考
おきなわアジェンダ21 民環境フェア 出展『サガリバナ講習会』	バリエーション(サガリバナ)についてのパネルや出版物を展示し、サガリバナの植え方講習会を行う予定。	'03-09-12 ～09-13	沖縄県立 武道館周辺	台風の為中止
州崎マングローブテラス斜面緑化	沖縄エコツアーガイド研修の一環として斜面緑化の方法を学習する	'03-09-20	具志川市州崎	沖縄エコツアーガイド養成講座受講生対象
宮古サガリバナ講習会(予定)	バリエーション(サガリバナ)についてのパネルや出版物を展示し、サガリバナの植え方講習会を行う予定。	'03-10-18 ～10-19	宮古島	
州崎のワークショップ	州崎マングローブテラスの清掃とマングローブの観察を行う予定。	'03-10-25	具志川市州崎	
My キーフジ作戦	漫湖沿岸にサガリバナの苗を植樹する予定。	'03-11-09	那覇市漫湖	

お知らせ（その1）

おきなわ環境クラブは、自然と水辺の環境に理解を深め、その保全に寄与することを目的に、『自然環境ガイドブック「おきなわの水辺環境」』と『自然環境ガイドブック「おきなわのマングローブ」』を出版しました。

詳しくは、OEC事務局までお問い合わせください。



お知らせ（その2）

当クラブは、6月1日より県の委託を受け県庁四階にある「地域環境センター」の管理運営を行っております。

同センターでは、地域の環境関係図書の閲覧や環境に関するパネルの貸し出しのほか、環境問題に関する相談にも応じています。

また、毎週火曜日、木曜日は、ISO14001に関する無料相談窓口も開設しています。

お気軽にお訪ねください。

〒900-8570

那覇市泉崎 1-2-2 沖縄県庁 4階

TEL:098-866-2638 FAX:098-866-2240

開所時間 月～金曜日 9:00～17:00

コラム

「アリを食べた」



最近読んだある雑誌にガキ大将文化のことが載っており、私の目を惹いた。

作者は、ガキ大将時代に「アリンボを食うと強くなれるぞ」と言われ、目の前で行列を作って歩く“アリ”をつまんで口に入れ、ムシャムシャ食べたという。

これを読んで、つい、私は、吹き出してしまった。それというのも、先日、サークルの学習会で、ふとしたことから、子供のころの食体験談に花が咲き、私自身が「アリを食べた」談をしたからである。

幼い頃の私は、ガラガラ声であった事、声を出すのに疲れを感じた事、話をするのが好きではなかったこと等々、子供なりに声にまつわる悩みを抱えていたのである。そんな私に、母は、度々、「アリを食べるときれいな声になるよ」「歌手になれるんだってよ」と言っていたのである。幼い私は、この母の無責任な口癖を信じて、“アリ”を見つけるとまるでご馳走にありつけたように急いで口の中へぱくりと入れ、食べたのであった。

ランの花の鉢植えは、咲き終えた株をそのままにしているとアリが巣づくりをするのに絶好な場所になる。大量の幼虫と蛹が入った繭が見つかるのであるが、それは、まるでご飯粒のようである。観察をしながら、幼い私が次に取るであろう行動を想像し対面する。

本によると食の感じは、すっぱさと強烈な臭気があるらしいが、私は遠い昔のことで、食の感じを忘れている。むしろ味が全くなかった気がする……。ちなみに、この酸味はアリの蟻酸の味らしい。

昆虫を食べる習慣は、世界的に決して少なくないと思う。とすると、“アリンボを食う”ことは、21世紀のエコライフに無限の可能性を秘めた食材だと思う……。作者に「強烈な体験」を共有したのものとして同じ思いをしないでもない。

（会長代行 上原千賀子）

サガリバナを鉢植えで咲かせてみませんか？

サガリバナの鉢植えとその管理方法

準備する物

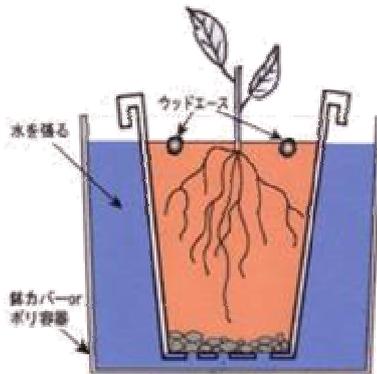
- サガリバナのポット苗
- 懸崖鉢（10K）
- 鉢カバー（水漏れしないポリ容器、桶や発泡スチロールでも可）
- 底石（枯葉や枯枝、発泡スチロールなどでも可）
- 土（堆積土：砂：堆肥 = 2：1：1）
- ウッドエース（緩効性固形化学肥料）



- 1) ポット苗を用意します。
- 2) 土が流れてしまわないように懸崖鉢の底に底石を敷きます。適当な底石がない場合は、枯れ枝でも大丈夫です。



- 3) 懸崖鉢に三分の一程度の土を入れます。
- 4) 根を傷つけないようにポットから苗を取り出し土の上に置き更に土を足していきます。



- 5) 4)の鉢を鉢カバーの中に入れ、鉢と鉢カバーの間に水道水を満たします。
- 6) ウッドエースを2個鉢の土に差し込みます。

管理方法

- 一週間に1回水道水を満たす（毎日水をやるのではなく、水面の上下がポイント）
- 日当たりがよく、風当たりが強くない所に置く（南側がよい）
- 年に1回ウッドエースを2個鉢の土に差し込む
- 鉢植えで大きくなりすぎると（この3年後あたり）地植えにしたほうがよい

NPO法人 おきなわ環境クラブ

〒902 0075 沖縄県那覇市国場 370 107 号室

TEL:098-833-9493 FAX: 098-833-9473

URL : <http://www.npo-oec.com> E-mail : oec@mc3.seikyounet.jp